

古典を読んでみよう ①

枕草子

清少納言

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

【読み方】

まくらのそうし

せいしようなごん

はるはあけぼの。ようよう白くなりゆく山ぎは、少し明かりて、むらさきだちたる雲の細くたなびきたる。

【意味】

春は明け方がよい。だんだんと白くなっていく山ぎわが少し明るくなって、紫がかつた雲が、細くたなびいてるのがよい。